

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	美容室（経営者）	・若年層でもお金に余裕のある人が増えている傾向が見受けられる。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・天候が暖かくなれば、飲料品関係の需要が増える。
	○	百貨店（店長）	・政府の政策により、株価高騰の先行き、実体経済の回復も期待できる状況になっている。金利上昇や国際情勢の混乱等の不確定要素は残るものの、全体で見た場合、良くなる可能性の方が高いとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・値上げの影響がまだしばらくは続くともっており、インバウンドの影響が少ないこともあって、景気はこのままやや良くなるとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・4月以降は新社会人や学生の駅利用増加に伴い、来客数の上積みが見込めるため、景況はやや改善傾向で推移すると見込んでいる。
	○	コンビニ（店長）	・地域で急激に高齢化が進んでいる影響からか、大変厳しい2月であったが、天候が暖かくなればある程度元に戻るとみている。
	○	家電量販店（店員）	・現状のように、耐久消費財の伸びが堅調に推移すれば、期待が持てる。また、エアコンは2027年問題、いわゆる省エネ達成率が100%でなければ生産できなくなることから、駆け込み需要が発生することも期待の1つとなる。
	○	自動車備品販売店（経営者）	・現政権は明確に将来に対して前向きな政策をずっと主張している。身の回りの客なども含め、かなり多くの人が期待している。政策が少しでも具現化してくれば、皆、お金を使ったり、前向きなムードになるため、少しずつ上向きになる。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・春の異動時期に伴い、タイムリーな需要増加が期待される。
	○	一般レストラン（経営者）	・歓送迎会の時期や連休もあるため期待したい。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・歓送迎会等、外食機会が増えてくると予想している。
	○	都市型ホテル（経営者）	・外食産業のため、消費税の減税が実行された場合、景気が良くなるとの期待がある。
	○	都市型ホテル（支配人）	・宿泊部門では桜やネモフィラ等、観光需要があり、料飲部門は歓送迎会や総会シーズンに入るため、景気はやや良くなる。
	○	旅行代理店（経営者）	・繁忙期に突入するため、例年と同様の販売量であればバス代金が高騰している分、売上は増加する。
	○	旅行代理店（所長）	・今年もインバウンドは順調に推移するとみている。国内旅行については、今後の政治の動き次第である。
	○	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くなっているため、この先も良くなる。
	○	ゴルフ場（従業員）	・ゴルフシーズンに入るため期待したい。ゴールデンウィークは前年の日並びと異なっており、人気のある日と客の少ない日の動きが出始めている。
	□	商店街（代表者）	・恒例の春のイベントに人出が見込まれ、期待が高まっている。ただし、イベント後にはいつもの寂しい商店街になるので不安である。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・消費税を減税するかどうかの結果次第で良くなるか悪くなるか、実際は変わらないのではないかとみている。
	□	百貨店（営業担当）	・一部富裕層の動きがみられるものの、多数を占める中間層の消費意欲は依然として低いままである。特に、高齢者の生活防衛意識は高く、消費には極めて慎重である。この傾向はしばらく続く。
□	百貨店（営業担当）	・購買意欲の停滞、沈静化は続くともみているが、卒業、入学、新生活の需要は確実にあるため、例年どおりの売上は確保可能と考えている。購買意欲の低い顧客層への需要喚起を促進して追加の売上獲得を図る。	
□	スーパー（総務担当）	・価格高騰が続くなか、景気回復の兆しが見えない。	
□	スーパー（商品部担当）	・今の状態より良くなるとは考えにくい。悪天候による農作物への影響や食料品の値上げ傾向は収まる気配がない。最低賃金引上げによる影響も見受けられない。	

□	スーパー（経営企画）	・2～3か月では変わらないと考えるが、食料品の消費税が軽減されるのであれば、将来的には期待できる。
□	衣料品専門店（経営者）	・季節が変わり、買換え需要が見込める期待がある。反面、諸物価高騰で衣料品の買い控え傾向も見受けられる。
□	家電量販店（営業担当）	・花粉シーズン到来で、関連商材の品ぞろえに注力していく予定である。
□	家電量販店（企画担当）	・物価高騰などを背景とした節約意識の高まりを受けて、依然として家電の買換えは抑制的であり、来客数、販売量の低迷が懸念される。一方、今後は2027年問題を背景としたエアコン需要の高まりが、長期的に期待できる。
□	住関連専門店（店長）	・少子化や高齢化等、この先に明るい兆しが無い。
□	住関連専門店（仕入担当）	・消費税減税に向けた動きや米国の関税政策、日中関係など不確定要素が多く、春の訪れに伴う需要も天候次第である。好転する要素は見当たらない。
□	その他専門店（総務担当）	・販売単価が上げられないため、変わらない。
□	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・給食部門では、新年度からの契約入札に際し、異業種を含めた参入があり、条件見直しの重しとなっている。一方で、食材費や人件費を始めとする経費は高止まりしており、収支確保が懸念される見通しである。
□	旅行代理店（営業担当）	・春闘で賃上げがあったとしても、業界的に賃上げの恩恵を受けるのはしばらく先になるため、現状での先行きは不透明である。
□	通信会社（社員）	・今後2～3か月先では変わらないが、やや良くなる方向に向かっている。
□	通信会社（営業担当）	・現状の物価高は世界情勢が起因しているため、大きな視点では現状からの変化は期待できない。
□	テーマパーク（職員）	・例年と比べ、季節や天候にずれが生じるなど、浮き沈みがしやすい環境である。
□	設計事務所（所長）	・国の景気対策等で一時的には良くなるかもしれないが、そう簡単に景気が上向かない。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・国や自治体が行うリフォーム関連の補助金によるところが大きく、正直なところ先が見通せない。
▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	・今月も堅調に推移し、今後への懸念はほとんどなかったが、中東情勢のニュースが飛び込んできた。当店は観光土産店だが、世界情勢が不安定になると真っ先に不景気になる職種である。今後世界がどのように推移するか予断を許さない状況のため、景気はやや悪くなる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーの生産状況は、ほぼ順調で良いものの、活気がみられない。米国の関税政策等の影響なのかもしれない。
▲	乗用車販売店（従業員）	・3月は繁忙期のため、一時的に良くなる。ただし、4月以降は税制改正の影響をどのように受けるか不明である。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・宴会件数は微増だが、予約の大口団体が実際には5～7割の人数での開催となったり、主催者の見込む人数とのかい離が大きくなっている。前月時点では個人消費も回復してきたかのような入込客数だったが、今月はプレーキが掛かったような感覚である。突然の衆議院選挙の影響もあるのか、今後も米国の関税政策等の不安要素もあり、来客数の動きが気掛かりである。
▲	旅行代理店（従業員）	・円高に進まない限り、海外旅行は厳しい。
▲	通信会社（総務担当）	・機種変更の特需が3月一杯で終わるため、やや悪くなる。
▲	通信会社（局長）	・結局、物価対策はいつからどのように行われるのか。来年度予算についても年度内の決定は難しく、対策が遅れるとみている。また、決定し施行されたとしても、どの程度効果が現れるのかも不明である。景気が回復する方向に進むとは考えにくい。
▲	ゴルフ練習場（経営者）	・原材料不足により、今後は価格上昇傾向になる。
▲	住宅販売会社（経営者）	・会社の借入金金利上昇に伴い経費増加が見込まれ、業績は全体的に落ちる。良くなる要因は見つからない。
▲	住宅販売会社（経営者）	・最近では、人の動きが少ないようである。特に、夜の飲み屋街でも客の動きが非常に悪い。これといって良くなる要素がないため、やや悪くなる。

	×	乗用車販売店（経営者）	・我が国だけでなく、米国や中国国内の政権運営次第である。
	×	タクシー運転手	・地方の郊外では、かなり景気が悪いと実感している。
	×	通信会社（経営者）	・明らかに客の購買意欲は低下している。地方ではとにかく安い料金プランでないと加入できない状況にある。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	・急に暖かくなってきたため、これからは商材が動き出す。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・新規案件も増加傾向に転じ、良い方向に進んでいる。確実に数字を積み上げていきたい。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この数か月は変わりはないが、来月は若干良くなるような兆しがある。2～3か月先は分からない。
	○	金融業（営業担当）	・全体的な賃上げが今後も予想されるため、消費に良好な改善が見込める。
	○	経営コンサルタント	・インフレ感が徐々に薄れるに連れて、家計の負担感が弱まるため、消費は多少増加するとみている。下請企業等、中小企業の業況に大きな変化はなく、業績は様々だと見込まれる。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・当社に円安等の直接的な影響はないものの、米国の関税政策や物価高などにより、米国市場の不安定な状態が世界経済に飛び火することを危惧している。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・今年度の目標を早々に達成し、ほっとしている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の内示からの増減もなく、大体フラットな状況で注文が来ているため、変わらない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量は2～3か月は変わらないとみているが、その後は分からない。
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主要取引先の生産は、今のところ増減なく進んでいる。ただし、先日中国が発表した対日輸出規制の影響が今後どうなるか、非常に不安な要素ではある。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高の状況なども、依然として続いている。
	□	輸送業（営業担当）	・新年度を前に、白物家電や生活家電、雑貨、テーブル、椅子、家具、寝具類等、物量は前年並みを確保予定である。ただし、引っ越し便などの車両とも重なり、用車費その他、協力車両不足で運賃の上昇もあり、コスト自体が高くなっているため、利益確保は少なくなりそうである。
	□	司法書士	・それほど良くなるというか、仕事が増えることもないが、その代わり減ることもない。地域では、当社の名前は通っている方なので、徐々に進んでいく。
	□	社会保険労務士	・地方の中小企業では、賃金は余り上がらないとみている。
	▲	食料品製造業（経営者）	・物価高が一段と進行し、今まで以上に暮らしぶりは厳しくなることが予想される。地方の中小企業にとって、物価高を上回る賃上げはかなり厳しそうである。
	▲	化学工業（管理担当）	・受注量の減少で、やや悪くなる。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・取引先との情報交換によると、やや悪くなる予想である。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	・今の時期に来期計画等の提示がなく、設備投資の予定もない状況では、景気が良くなるわけがない。
	▲	建設業（総務担当）	・例年と比べて業務量が少なく、発注見通しも今一つ件数がないため、不安である。
×	不動産業（管理担当）	・他県から遅れて最低賃金が上がることや労働基準法改正対応などで経費が増え、資材の値上げがいつまでも落ち着く気配がないため、今後も利益確保は苦勞しそうである。	
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・新卒に期待している様子が見受けられる。また、休み期間に入った学生のアルバイト希望者が増えている。少しでも、小遣いや手取りを増やしたいというところでの動きである。このところガソリン価格も多少上がってきて、物価も上昇しているため、その点はやや厳しい。

○	人材派遣会社（社員）	・中国の訪日渡航自粛要請があったため、中国からのインバウンドは減っているようだが、それ以外の国からのインバウンドは順調に入込客数を増やしている。ただし、当市では人手不足が深刻であるため、当社のような地道なサービス業は仕事があっても受けることができず、売上に結び付かない状況である。小売店や土産物店は堅調に推移している。
□	人材派遣会社（社員）	・製造業などの派遣料金が低く、人材供給が厳しい状況は変わらない。
□	職業安定所（職員）	・新規求人数の前年同月比の動向について、医療、福祉分野は増加傾向で推移している。建設業、製造業、卸小売業は増減を繰り返している。
□	学校〔専門学校〕（副校長）	・新年度に向けて、人材不足による業績の変化は余りないとみている。
▲	人材派遣会社（管理担当）	・派遣取引が減少するため、やや悪くなる。
×	—	—